

介護福祉科 部会 記録

出席者： 白井幸久氏 望月太敦氏 倉持有希子氏 寺口博貴氏

1. 教科の概要について説明 学科長

倉持： 前回の教育課程編成委員会での委員の意見を交えて 2014 年度の教科概要を説明。前回の振り返りでは授業にキリスト教らしさを取り入れてはどうか、ボランティアへの取り組みはどうか、医療的ケアをどうするか、地域社会への取り組みをどうするかという点があがった。

キリスト教については宗教的な側面があるので全面的には出さないが、クリスマスの意味は伝え、授業としてクリスマス礼拝をおこなっていく。

ボランティアの取り組みについては、学校として春と夏に石巻の被災地支援を実施している。夏休みには就職や仕事で役に立つため参加するように勧める。学習支援演習の授業では国立市社会福祉協議会の職員の方に来てもらいボランティアへの参加を促している。

医療的ケアでは、今年度の新1年生の後期から総論が開始。2年生では各論を学ぶ。規定の50時間より多く授業を行い、内容により演習を実施する。1度学生と一緒にシュミレーションを行い、清潔不潔の区別や初めて触れる器具の取扱い、演習にかかる時間等を確認。介護の基本Ⅲでは昨年より医療に関するコマ数を5つ増やし、医療的ケアの授業につなげる。清潔不潔については、日常生活から床に直接物を置かない事など徹底している。

地域社会への取り組みでは、介護の基本Ⅴでサービス担当者会議のロールプレイを取り入れている。介護の基本Ⅵでは都会の限界集落（新宿戸山団地）をテーマに授業を設定している。

学校独自の取り組みとして、現場で伝える力をつけるために、1年生の学習支援の科目で、一分間スピーチを実施している。

講師会資料を使い、学校の取り組みを説明

セクシャリティについて3コマ授業を設定し、実習での学びに繋げている。

生活支援技術では、自立支援の技術を重点的に行うが、学生のニーズにも応え、介助量の多い技術も教えている。自立支援の技術を学んでから介助量の多い技術を学ぶという流れも意識している。20人程度の学生に対して4人の教員が指導しているため、細かいところまで関わっている。

記録を書く力は2年間かけて指導している。

学生が学校をやめない取り組みとしては、再試験の発表や試験日を実習の後にした。実習で介護の楽しさ、やりがいを感じてもらい座学への意欲をもってもらおう。

コミュニケーション力をつけるために、入学してすぐに6人グループをつくり役割を担ってもらった。チームで関わる環境をつくり、自分たちで考える力「自治力」を養ってもらおう。人間関係とコミュニケーションという科目で山中湖キャンプを実施している。

実習を乗り越えてもらうために、施設と教員の連携を保ち、実習先の振り分けの時点で学生と施設の相性を考慮し振り分けている。

2. 質疑応答とディスカッション

一同

白井委員：学習支援は基礎力つけられて良いですね。きめ細かい指導ができるのも大切ですね。1年間で力つきますか？

倉持学科長：今ようやく介護福祉士の卵になったところです。今年をあえて、班メンバーとの関係ができるまで自己紹介をしない取り組みをしました。リーダー会議で学生たちから自己紹介をしたいと言われるまで実施しないことで、例年みられていた足を引っ張り合うようなグループができませんでした。

望月委員：一分間スピーチの取り組みは、一分という枠を決めて全員がやるのが良いですね。ただ一回で終わってしまうのはもったいない気がします。フィードバック活かし、もう一度スピーチをする機会を設けても良いのでは？

倉持学科長：担当教員と後期のスケジュール確認し検討します。

白井委員：生活支援技術は回数重ねられて、以前より実践的ですね。YMCAの良さ独自性になっていると思います。この内容がシラバスにもっとでてくると良いですね。

二年間の科目履修の流れがわかるように図式化してほしい。学生募集や保護者、高校の先生にもYMCAのことを理解してもらいやすいのではないかな。

倉持学科長：その通りです。作成に向けて取り組みます。

望月委員：学校で取り組んでいる感染症については、理解しているかがすごく大切。演習でできても、現場で活かせるかがポイントだと思います。共通の手順知っているだけでも大きな違いです。

実際現場では家族向けの介護教室をしています。伝える力を持ち、地域に還元できる人材の育成をお願いします。

倉持学科長：地域包括ケアシステムのことも含めてとても大切なことだと感じています。学校として取り組んでいきたいと思っています。

3. 今後の課題

倉持学科長

- ・シラバスに、よりYMCAの取り組みがわかるように強化すること。
- ・科目履修の全体像を図式化し、受験対象者、保護者、高校の先生に説明し学生募集に繋げる。

以上